

建設労働需給調査結果

(平成 28 年 10 月調査)

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課
課長補佐 荒井 (内線24853)
山田 (内線24854)
(電話) 03-5253-8111【代表】
03-5253-8283【直通】
(FAX) 03-5253-1555
ホームページ <http://www.mlit.go.jp>

【調査結果のポイント】

- 本調査結果は、平成28年10月10日～20日までの間の1日（日曜、休日を除く）を調査対象日として調査している。
- 全国の8職種の過不足率は、9月は0.9%の不足、10月は1.3%の不足となり0.4ポイント不足幅が拡大した。
※不足幅の拡大理由として、北海道地域の8職種の過不足率が、9.3%と前年同月（1.3%）と比べて大きく上昇していることがあり、その要因として、平成28年台風10号等に係る被害に伴う復旧工事の影響が考えられる（現地企業へのヒアリングによる）。
- 東北地域の8職種の過不足率は、9月は0.7%の不足、10月は2.2%の不足となり1.5ポイント不足幅が拡大した。
- 8職種の今後の労働者の確保に関する見通しについては、全国及び東北地域とも「普通」となっている。

1. 全国の過不足率の状況（原数値）

- 【8職種】 1.3 %の不足。
○ 8職種全体で1.3%の不足となった。
特に鉄筋工（土木）で5.2%の不足率が大きい。
- 【6職種】 1.5 %の不足。
○ 6職種全体で1.5%の不足となった。
特に鉄筋工（土木）で5.2%の不足率が大きい。

2. 東北地域の過不足率の状況（原数値）

【8職種】	2.2 %の不足。
【6職種】	2.5 %の不足。
○	8職種中、鉄筋工（土木）は均衡、それ以外の職種は不足傾向となっている。
○	今後の見通しとしては、6職種及び8職種で「普通」となった。

3. 職種別の状況（原数値）

- 型わく工（土木）、型わく工（建築）、左官、とび工、鉄筋工（土木）、電工、配管工で不足傾向、鉄筋工（建築）で過剰傾向となっている。最も不足傾向が大きいのは、鉄筋工（土木）の不足率が大きい（5.2%）。
- 鉄筋工（土木）について、過不足率の対前年の増減幅が大きくなっている。
- 新規募集の過不足状況については、6職種計及び8職種計において前年同月を上回る不足率となっている（参考3参照）。

	今月過不足率	前月過不足率	対前月増減	前年同月過不足率	対前年増減
型わく工（土木）	3.9 %	2.2 %	1.7	0.9 %	3.0
型わく工（建築）	1.9 %	0.9 %	1.0	0.9 %	1.0
左 官	1.9 %	0.3 %	1.6	△ 0.1 %	2.0
と び 工	2.1 %	1.4 %	0.7	1.6 %	0.5
鉄筋工（土木）	5.2 %	2.3 %	2.9	1.2 %	4.0
鉄筋工（建築）	△ 2.4 %	0.1 %	△ 2.5	0.2 %	△ 2.6
6 職 種 計	1.5 %	1.1 %	0.4	0.8 %	0.7
電 工	0.6 %	0.5 %	0.1	0.5 %	0.1
配 管 工	1.4 %	0.7 %	0.7	0.3 %	1.1
8 職 種 計	1.3 %	0.9 %	0.4	0.7 %	0.6

4. 地域別の状況（8職種計）（原数値）

- 関東は過剰、それ以外の地域では技能労働者が不足傾向であった。
- 地域別に過不足率を前年同月と比較すると、北海道が8.0ポイントの増で、全国で最も増減幅が大きくなっている。

	今月過不足率	前月過不足率	対前月増減	前年同月過不足率	対前年増減
北海道	9.3 %	4.5 %	4.8	1.3 %	8.0
東 北	2.2 %	0.7 %	1.5	2.2 %	0.0
被災3県	2.8 %	0.8 %	2.0	2.9 %	△ 0.1
関 東	△ 0.3 %	0.2 %	△ 0.5	0.1 %	△ 0.4
北 陸	1.5 %	1.4 %	0.1	0.5 %	1.0
中 部	0.9 %	0.5 %	0.4	2.1 %	△ 1.2
近 畿	0.7 %	0.3 %	0.4	0.2 %	0.5
中 国	0.6 %	1.9 %	△ 1.3	1.3 %	△ 0.7
四 国	3.4 %	2.9 %	0.5	1.8 %	1.6
九 州	2.0 %	2.1 %	△ 0.1	0.4 %	1.6
沖 縄	0.1 %	0.0 %	0.1	0.4 %	△ 0.3

5. 地域別の状況（6職種計）（原数値）

- 関東は過剰、近畿は均衡、それ以外の地域では技能労働者が不足傾向であった。
- 地域別に過不足率を前年同月と比較すると北海道が9.5ポイントの増で、全国で最も増減幅が大きくなっている。

	今月過不足率	前月過不足率	対前月増減	前年同月過不足率	対前年増減
北海道	10.8 %	4.9 %	5.9	1.3 %	9.5
東北	2.5 %	0.9 %	1.6	3.0 %	△ 0.5
被災3県	2.9 %	1.3 %	1.6	4.7 %	△ 1.8
関東	△ 0.9 %	0.0 %	△ 0.9	0.0 %	△ 0.9
北陸	2.1 %	1.9 %	0.2	0.2 %	1.9
中部	1.4 %	0.8 %	0.6	4.7 %	△ 3.3
近畿	0.0 %	0.0 %	0.0	0.0 %	0.0
中国	0.5 %	2.7 %	△ 2.2	1.8 %	△ 1.3
四国	5.1 %	4.0 %	1.1	2.7 %	2.4
九州	2.2 %	2.0 %	0.2	0.3 %	1.9
沖縄	0.2 %	0.0 %	0.2	0.5 %	△ 0.3

6. 今後の労働者の確保に関する見通し（8職種計）（原数値）

- 翌々月（12月）における労働者の確保に関する見通しは、「困難」と「やや困難」の合計が30.1%で、対前年同月比1.8ポイントの上昇となっている。また、「やや容易」と「容易」の合計は8.0%で、対前年同月比0.1ポイントの上昇となっている。
- 翌々々月（1月）に関する見通しについては、「困難」が21.5%で対前年同月比0.5ポイントの上昇となっている。「容易」は9.0%で、対前年同月比1.3ポイントの下降となっている。

8 職 種 計					
	12 月の見通し			1 月の見通し	
	今月	前年同月		今月	前年同月
困 難	8.9 %	7.6 %	困 難	21.5 %	21.0 %
やや困難	21.2 %	20.7 %	普 通	62.0 %	59.9 %
普 通	62.0 %	63.8 %	容 易	9.0 %	10.3 %
やや容易	3.8 %	4.1 %	不 明	7.5 %	8.8 %
容 易	4.2 %	3.8 %			
不 明	0.0 %	0.0 %			

※翌々月の見通しは、「困難」「やや困難」、「普通」「やや容易」、「容易」「不明」からの回答で、翌々々月の見通しは、「困難」「普通」「容易」「不明」からの回答である。

7. 手持現場の状況（8職種計）（原数値）

- 残業・休日作業を実施している現場数（強化現場数）は、手持現場数の5.3%となっており、前月（9月）と比べ0.2ポイント増加している。なお、対前年同月（3.3%）比では2.0ポイント増加している。
- 強化理由は、「その他」を除いて「前工程の工事遅延」、「昼間時間帯時間の制約」、「天候不順」、「無理な受注」の順となっている。

全手持現場に占める 強化現場の割合	強 化 理 由					
	無 理 な 受 注	天 候 不 順	昼 間 時 間 帯 時 間 の 制 約	前 工 程 の 工 事 遅 延	そ の 他	不 明
5.3 %	12.3 %	19.0 %	22.1 %	32.8 %	13.8 %	0.0 %

【参考1】職種別過不足率（季節調整値）

	今 月	前 月	対前月増減
型わく工（土木）	3.4 %	2.1 %	1.3
型わく工（建築）	1.4 %	0.2 %	1.2
左 官	1.8 %	0.1 %	1.7
と び 工	1.4 %	0.9 %	0.5
鉄筋工（土木）	4.3 %	1.7 %	2.6
鉄筋工（建築）	△ 2.0 %	△ 0.6 %	△ 1.4
6 職 種 計	0.9 %	0.7 %	0.2
電 工	0.6 %	0.7 %	△ 0.1
配 管 工	1.4 %	0.8 %	0.6
8 職 種 計	0.9 %	0.7 %	0.2

【参考2】地域別過不足率（季節調整値）

	8職種計過不足率			6職種計過不足率		
	今月	前月	対前月増減	今月	前月	対前月増減
北海道	7.3 %	3.2 %	4.1	8.3 %	3.5 %	4.8
東北	1.2 %	△ 0.0 %	1.2	0.8 %	△ 0.2 %	1.0
関東	△ 0.3 %	△ 0.2 %	△ 0.1	△ 0.9 %	△ 0.5 %	△ 0.4
北陸	0.4 %	0.6 %	△ 0.2	0.4 %	0.9 %	△ 0.5
中部	0.2 %	0.0 %	0.2	0.0 %	0.3 %	△ 0.3
近畿	0.7 %	0.3 %	0.4	△ 0.2 %	0.2 %	△ 0.4
中国	0.6 %	1.8 %	△ 1.2	0.3 %	2.3 %	△ 2.0
四国	2.7 %	2.6 %	0.1	3.8 %	3.2 %	0.6
九州	2.2 %	1.5 %	0.7	2.3 %	1.4 %	0.9
沖縄	0.2 %	0.2 %	0.0	0.3 %	0.3 %	0.0

【参考3】新規募集過不足率（原数値）

	今 月	前 年 同 月	前 月
型わく工（土木）	11.3 %	2.8 %	7.5 %
型わく工（建築）	4.0 %	1.7 %	2.8 %
左 官	3.7 %	2.3 %	0.7 %
と び 工	5.7 %	4.4 %	3.6 %
鉄筋工（土木）	17.0 %	2.7 %	3.9 %
鉄筋工（建築）	1.1 %	2.5 %	2.2 %
6 職 種 計	4.9 %	2.7 %	3.1 %
電 工	2.6 %	1.4 %	1.7 %
配 管 工	3.6 %	0.8 %	2.4 %
8 職 種 計	4.4 %	2.2 %	2.9 %

表－1 建設技能労働者過不足率の推移（全国、原数値）

職 年月	型わく工（土木）		型わく工（建築）		左官		とび工		鉄筋工（土木）		鉄筋工（建築）		6職種計		電工		配管工		8職種計	
	過不足率		過不足率		過不足率		過不足率		過不足率		過不足率		過不足率		過不足率		過不足率		過不足率	
	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント	%	前年 同月差 ポイント
55年平均	2.9		1.9		1.6		2.7		3.2		1.9		2.2							
56年平均	0.9	-2.0	0.1	-1.8	0.0	-1.6	1.0	-1.7	0.5	-2.7	0.9	-1.0	0.5	-1.7						
57年平均	0.1	-0.8	0.4	-0.5	0.4	-0.4	0.3	-0.7	0.0	-0.5	0.1	-0.8	-0.1	-0.6						
58年平均	0.2	0.1	-0.1	0.3	-0.1	0.3	0.0	-0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.0	0.1						
59年平均	0.1	-0.1	0.0	0.1	-0.1	0.0	0.1	0.1	0.4	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1						
60年平均	0.6	0.5	1.1	1.1	0.4	0.5	0.5	0.4	0.6	0.2	0.7	0.3	0.7	0.6						
61年平均	0.7	0.1	1.7	0.6	0.9	0.5	0.6	0.1	0.8	0.2	1.1	0.4	1.1	0.4						
62年平均	1.9	1.2	3.5	1.8	1.5	0.6	1.8	1.2	1.3	0.5	1.9	0.8	2.2	1.1						
63年平均	2.7	0.8	3.3	-0.2	2.0	0.5	3.2	1.4	2.6	1.3	3.8	1.9	3.0	0.8						
元年平均	3.4	0.7	3.8	0.5	2.0	0.0	3.5	0.3	3.4	0.8	4.0	0.2	3.4	0.4						
2年平均	6.0	2.6	4.4	0.6	2.1	0.1	4.1	0.6	4.3	0.9	4.1	0.1	4.2	0.8						
3年平均	5.3	-0.7	2.4	-2.0	1.9	-0.2	3.1	-1.0	4.5	0.2	2.7	-1.4	3.0	-1.2						
4年平均	2.3	-3.0	0.6	-1.8	0.9	-1.0	1.6	-1.5	1.0	-3.5	0.9	-1.8	1.1	-1.9						
5年平均	0.8	-1.5	0.0	-0.6	0.3	-0.6	0.3	-1.3	0.4	-0.6	0.6	-0.4	0.3	-0.8	0.1		0.8		0.4	
6年平均	0.8	0.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.4	0.1	0.7	0.3	0.5	0.0	0.8	0.5	0.1	0.0	0.7	-0.1	0.6	0.2
7年平均	1.0	0.2	0.9	-0.1	0.7	-0.1	0.2	-0.2	1.2	0.5	0.9	0.4	0.8	0.0	0.0	-0.1	0.5	-0.2	0.6	0.0
8年平均	0.8	-0.2	0.7	-0.2	0.3	-0.4	0.1	-0.1	0.8	-0.4	1.0	0.1	0.6	-0.2	0.2	0.2	0.5	0.0	0.5	-0.1
9年平均	0.2	-0.6	0.7	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0	0.5	-0.3	0.8	-0.2	0.5	-0.1	0.2	0.0	0.8	0.3	0.5	0.0
10年平均	-0.1	-0.3	-0.3	-1.0	-0.5	-0.8	-0.3	-0.4	-0.7	-1.2	-0.9	-1.7	-0.4	-0.9	-0.4	-0.6	0.3	-0.5	-0.3	-0.8
11年平均	0.5	0.6	0.2	0.1	-0.4	0.1	-1.0	-0.7	0.3	1.0	-0.7	0.2	-0.3	0.1	0.0	0.4	-0.1	-0.4	-0.3	0.0
12年平均	0.1	-0.4	0.1	0.3	-0.3	0.1	-0.7	0.3	-0.2	-0.5	0.7	1.4	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.3
13年平均	0.0	-0.1	-0.2	-0.3	0.3	0.6	-1.3	-0.6	0.2	0.4	0.5	-0.2	-0.2	-0.2	0.0	-0.1	0.2	0.1	-0.1	-0.1
14年平均	-0.4	-0.4	0.2	0.4	-0.3	-0.6	-2.0	-0.7	0.1	-0.1	-0.1	-0.6	-0.4	-0.2	-0.2	-0.2	0.1	-0.1	-0.3	-0.2
15年平均	0.8	-0.4	0.1	-0.3	-0.5	-0.2	-2.1	-0.1	-1.2	-1.3	0.3	-0.2	-0.7	-0.3	-0.1	-0.1	-0.2	-0.6	-0.3	
16年平均	-0.1	0.7	0.2	0.3	-0.2	0.3	-1.4	0.7	-0.5	0.6	-0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	-0.3	0.3
17年平均	0.1	0.2	2.4	2.2	0.4	0.6	-0.4	1.0	0.9	1.5	2.3	2.4	1.1	1.4	0.1	0.3	0.4	0.4	0.8	1.1
18年平均	1.0	0.9	2.0	-0.4	0.3	-0.1	-0.5	0.1	2.2	1.3	6.0	3.7	1.8	0.7	0.3	0.2	0.5	0.1	1.2	0.4
19年平均	0.2	-0.8	1.0	-1.0	0.1	-0.2	-0.1	0.4	1.7	-0.5	2.7	-3.3	0.9	-0.9	0.5	0.2	0.5	0.0	0.7	-0.5
20年平均	-0.7	-0.9	-1.1	-2.1	-1.2	-1.3	-1.2	-1.1	-0.4	-2.1	-1.5	-4.2	-1.1	-2.0	0.1	-0.4	0.0	-0.5	-0.7	-1.4
21年平均	-0.6	-0.1	2.3	-1.2	1.8	-0.6	-1.4	-0.2	-3.2	-2.8	4.8	-3.3	-2.2	-1.1	-0.2	-0.3	-0.2	-0.2	-1.5	-0.8
22年平均	0.4	0.4	0.3	2.0	2.1	-0.3	-1.6	-0.2	-1.0	2.2	1.1	3.7	1.0	1.2	0.0	0.2	-0.1	0.1	0.6	0.9
23年平均	0.2	0.6	1.6	1.9	0.1	2.2	0.5	2.1	1.2	2.2	3.3	4.4	1.3	2.3	0.1	0.1	-0.1	0.0	0.8	1.4
24年平均	0.9	0.7	1.3	-0.3	0.7	0.6	1.1	0.6	1.8	0.6	3.5	0.2	1.6	0.3	0.2	0.1	0.4	0.5	1.0	0.2
25年平均	2.9	2.0	2.0	0.7	0.7	0.0	2.1	1.0	3.6	1.8	3.1	-0.4	2.2	0.6	0.4	0.2	0.8	0.4	1.6	0.6
26年平均	2.7	-0.2	2.3	0.3	1.9	1.2	2.2	0.1	2.3	-1.3	2.4	-0.7	2.3	0.1	0.8	0.4	1.0	0.2	1.8	0.2
27年平均	1.3	-1.4	0.8	-1.5	0.4	-1.5	1.2	-1.0	0.7	-1.6	0.5	-1.9	0.8	-1.5	0.5	-0.3	0.4	-0.6	0.7	-1.1
26年10月	2.4	-4.9	1.7	-1.6	1.8	0.7	1.3	-2.2	1.2	-4.0	1.0	-2.3	1.5	-2.1	0.5	-0.1	0.4	-1.8	1.1	-1.5
11月	1.9	-3.1	1.9	-1.6	1.8	1.1	3.9	1.7	1.0	-4.8	0.1	-3.8	2.1	-1.0	1.2	0.7	0.7	-0.3	1.7	-0.4
12月	5.8	2.4	1.9	-2.1	2.4	1.2	2.2	-1.9	4.4	2.7	1.3	-2.5	2.4	-1.1	1.0	0.0	1.0	0.0	1.8	-0.7
27年1月	2.9	-0.1	1.1	-2.0	0.8	-2.2	1.7	-1.4	0.8	-1.6	0.6	-2.2	1.3	-1.7	0.9	0.2	0.8	-0.4	1.1	-1.0
2月	1.3	-2.5	0.2	-3.2	0.0	-2.8	1.2	-1.6	-0.1	-2.3	-0.1	-3.1	0.5	-2.6	0.9	-0.1	0.4	-1.5	0.8	-1.7
3月	2.1	-1.3	0.3	-2.2	0.8	-3.1	0.5	-3.3	1.0	-0.3	-0.2	-2.5	0.3	-2.7	1.0	-2.4	0.5	-0.7	0.5	-2.3
4月	0.9	-1.4	1.0	-0.9	0.1	-2.1	0.1	-2.4	0.3	-3.8	0.4	-2.0	0.5	-1.8	0.5	-0.4	0.4	-1.0	0.5	-1.4
5月	0.9	-0.7	0.8	-0.3	0.0	-0.9	1.1	-0.8	0.8	-2.4	0.6	-2.7	0.7	-1.2	0.2	0.1	0.2	-0.3	0.5	-0.9
6月	1.1	0.0	0.8	-1.7	-1.3	-1.9	0.8	-0.4	1.0	-0.4	1.3	-1.5	0.7	-1.1	0.0	0.0	0.3	-0.4	0.5	-0.8
7月	1.2	-0.6	0.5	-1.8	0.5	-1.8	1.5	0.3	1.7	-0.3	1.0	-2.8	0.9	-1.3	0.6	0.4	0.3	-1.0	0.8	-0.9
8月	1.9	-0.4	1.5	-1.4	3.6	2.2	1.4	-0.4	0.9	-3.1	3.9	0.3	2.3	-0.3	0.4	0.2	0.3	-0.3	1.6	-0.3
9月	0.8	-2.1	1.1	-1.3	0.3	-1.8	1.9	0.2	0.6	-0.5	0.3	-1.6	1.0	-1.0	0.2	-0.2	0.4	-0.2	0.7	-0.8
10月	0.9	-1.5	0.9	-0.8	-0.1	-1.9	1.6	0.3	1.2	0.0	0.2	-0.8	0.8	-0.7	0.5	0.0	0.3	-0.1	0.7	-0.4
11月	1.5	-0.4	0.5	-1.4	0.2	-1.6	1.3	-2.6	0.7	-0.3	-0.7	-0.8	0.5	-1.6	0.3	-0.9	0.4	-0.3	0.4	-1.3
12月	0.9	-4.9	0.7	-1.2	1.8	-0.6	0.8	-1.4	-0.4	-4.8	-1.4	-2.7	0.4	-2.0	0.9	-0.1	0.4	-0.6	0.5	-1.3
28年1月	1.4	-1.5	0.4	-0.7	0.3	-0.5	-0.2	-1.9	-0.1	-0.9	-1.1	-1.7	0.0	-1.3	0.7	-0.2	0.4	-0.4	0.2	-0.9
2月	1.7	0.4	0.2	0.0	0.5	0.5	0.9	-0.3	0.9	-0.8	-2.0	-1.9	0.1	-0.4	0.8	-0.1	0.6	0.2	0.3	-0.3
3月	1.1	-1.0	0.2	-0.1	-0.3	0.5	0.1	-0.4	0.2	-1.2	2.2	-2.0	-0.2	-0.5	1.7	0.7	0.0	-0.5	0.4	-0.1
4月	0.6	-0.3	0.0	-1.0	0.4	0.3	0.3	0.2	0.6	0.3	-1.3	-1.7	0.0	-0.5	0.2	-0.3	0.4	0.0	0.1	-0.4
5月	2.5	1.6	0.3	-0.5	-0.9	-0.9	1.0	-0.1	0.9	0.1	-0.7	-1.3	0.5	-0.2	0.0	0.6	0.4	0.4	0.4	-0.1
6月	1.7	0.6	1.5	0.7	1.0	2.3	0.7	-0.1	0.2	-0.8	-1.1	-2.4	0.7	0.0	0.1	0.1	0.7	0.4	0.6	0.1
7月	2.1	0.9	0.6	0.1	2.0	2.5	1.5	0.0	2.6	0.9	0.9	-0.1	1.3	0.4	0.4	-0.2	1.5	1.2	1.1	0.3
8月	1.7	-0.2	0.5	-1.0	2.2	-1.4	1.4	0.0	1.9	1.0	0.9	-3.0	1.2	-1.1	0.3	-0.1	0.5	0.2	0.9	-0.7
9月	2.2	1.4	0.9	-0.2	0.3	0.0	1.4	-0.5	2.3	1.7	0.1	-0.2	1.1	0.1	0.5	0.3	0.7	0.3	0.9	0.2
10月	3.9	3.0	1.9	1.0	1.9	2.0	2.1	0.5	5.2	4.0	-2.4	-2.6	1.5	0.7	0.6	0.1	1.4	1.1	1.3	0.6

表-2 地域別の需給状況（原数値）

地域 職種	需給状況		北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
	型わく工 （土木）	過不足率（％）	28年10月 27年10月	9.1 0.3	2.4 0.0	4.8 1.7	0.0 0.0	2.0 4.3	0.0 0.0	1.3 2.7	5.6 1.7	1.3 0.8	0.0 0.0
今後の 見通し		12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
型わく工 （建築）	過不足率（％）	28年10月 27年10月	11.7 1.0	2.0 1.1	0.5 0.0	5.0 1.1	1.8 9.8	0.0 0.0	2.6 2.4	9.5 3.3	2.2 0.8	0.4 0.9	1.9 0.9
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ▲	⊥ ▲	⊥ ⊥
左官	過不足率（％）	28年10月 27年10月	11.7 0.0	5.0 3.8	0.9 -7.2	3.2 4.8	0.0 17.9	0.0 -0.9	0.0 1.4	3.7 2.2	3.7 0.0	0.1 0.1	1.9 -0.1
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ▲	⊥ ⊥	⊥ ⊥
とび工	過不足率（％）	28年10月 27年10月	15.3 -0.3	3.7 8.9	0.9 1.6	1.6 -0.3	1.6 3.4	0.0 0.5	-1.8 2.1	1.8 3.0	2.7 0.0	0.0 0.0	2.1 1.6
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ▲	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ △	⊥ ⊥	⊥ ⊥
鉄筋工 （土木）	過不足率（％）	28年10月 27年10月	10.6 5.2	0.0 3.5	6.6 0.0	5.2 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 1.2	9.7 5.9	5.3 0.0	0.0 0.0	5.2 1.2
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
鉄筋工 （建築）	過不足率（％）	28年10月 27年10月	4.8 3.6	1.8 0.0	-6.0 -0.5	-2.3 -1.1	0.0 0.0	0.0 0.0	1.8 0.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 1.0	-2.4 0.2
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
6職種計	過不足率（％）	28年10月 27年10月	10.8 1.3	2.5 3.0	-0.9 0.0	2.1 0.2	1.4 4.7	0.0 0.0	0.5 1.8	5.1 2.7	2.2 0.3	0.2 0.5	1.5 0.8
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
電工	過不足率（％）	28年10月 27年10月	2.7 1.5	0.6 0.7	1.1 0.5	0.3 1.0	0.0 0.0	0.0 0.2	0.9 0.6	0.0 0.0	2.1 1.4	0.0 0.0	0.6 0.5
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
配管工	過不足率（％）	28年10月 27年10月	7.4 1.1	3.4 0.9	0.8 0.0	0.4 1.5	0.0 0.0	5.6 0.4	0.2 0.6	1.3 0.7	0.5 0.3	0.0 0.0	1.4 0.3
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
8職種計	過不足率（％）	28年10月 27年10月	9.3 1.3	2.2 2.2	-0.3 0.1	1.5 0.5	0.9 2.1	0.7 0.2	0.6 1.3	3.4 1.8	2.0 0.4	0.1 0.4	1.3 0.7
	今後の 見通し	12月見通し 1月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥

注1) この表で用いている記号は、以下の例による。

◎…容易、 ○…やや容易、 ⊥…普通、 △…やや困難、 ▲…困難、 ※…不明

注2) 記号は、回答のうち最も多数を占めるものを採った。

注3) 1月の見通しは、「容易」「普通」「困難」「不明」のうちからの回答である。

建設技能労働者過不足率の推移（8職種計・全国）



